

ある農民の生活、其の惨状言語に絶す、斯くして擡頭し來る勞農階級の資本主義一打倒一の叫びは、避け得ぬ資本主義崩壊の運命であり、明白な事實として歴史はそれを教へた。

是が攻勢は當然募る全被壓迫大衆への彈壓政策と化す、蓋し吾等は想ふ、階級闘争の途上は且々たゞる平道ではない。彈壓も加はり受難は迫りてこそ擡頭する。プロレタリアートの氣魂は鋼鐵の如く鍛治され、新しい世界の展望こそ一切の無慈悲なる不合理を粉碎し勞働階級の前に築かれるものである。

形勢は急迫をつけつゝある、猛襲する資本の攻勢に直面して別けても重工業、日本の心臓たる九州の地に、重大なる階級的使命を擔ふ我が統一勞働組合同盟は不斷に全勞働者大衆の尖端に立ちつゝ、一路戰闘的行動と準備を以つてバク進することが資本主義一打倒の根幹たることを明示し誓ふものである。

財團
協調會
福岡出張所

右宣言す

一九三四年四月三十日

九州統一勞働組合同盟

財團
協調會
福岡出張所